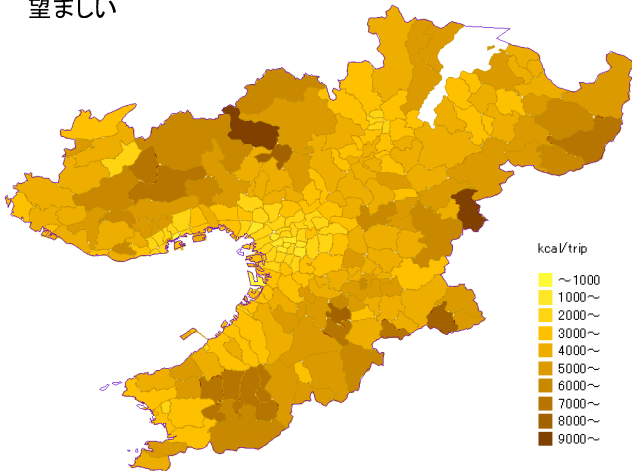


長い目で見て大きな決断： 住まいの選び方

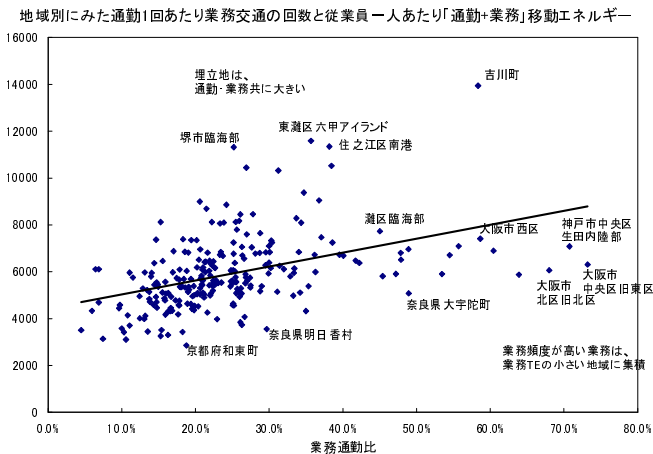
- 就職・転職、住み替えなどを行う際には、将来を予想して、人口減少、燃料価格高騰、環境税導入等があっても、移動が困難になることのないように、住まい等の地域を選んでいくことが重要になると考えられる。

通勤に係るエネルギーの小さい居住地(京阪神)

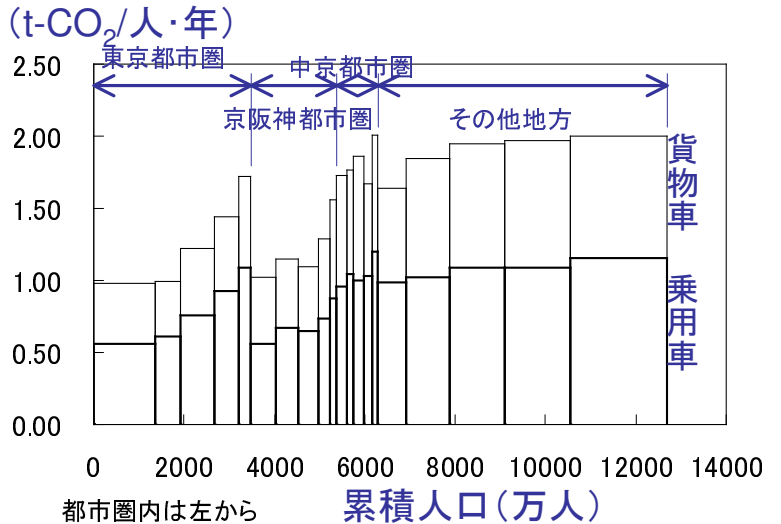
通勤エネルギーが小さい都心部近辺に居住することが望ましい



通勤・業務のエネルギーの小さい従業地(京阪神)
通勤のエネルギーが小さいだけでなく、業務交通の比率が高い場合にもトータルのエネルギーが小さい都心部に職場が立地することが望ましい

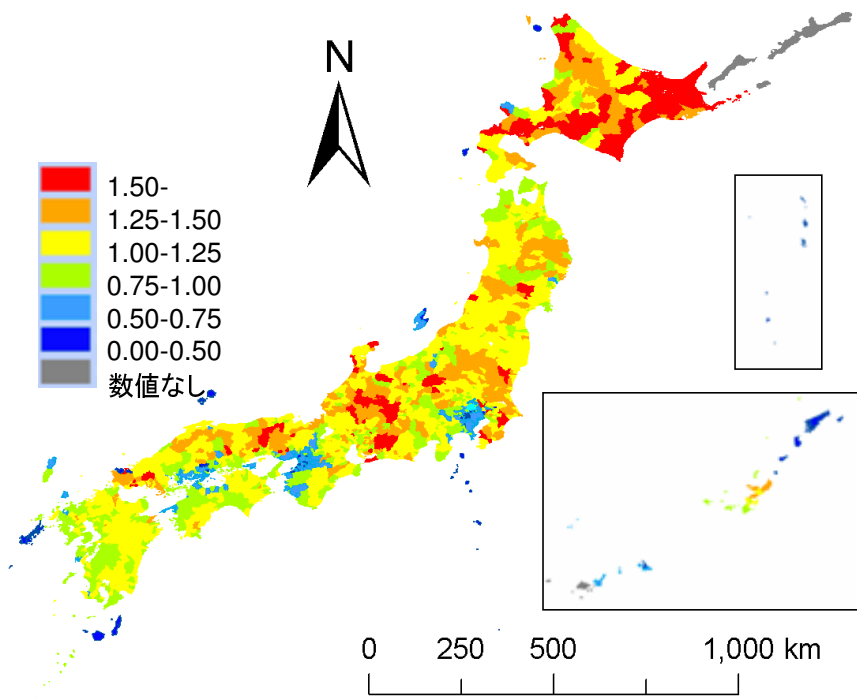


地域類型別自動車CO₂[t-CO₂/人/年]



都市圏内は左から
政令指定都市(区部)
30~100万人の市
10~30万人の市
10万人未満の市
郡部

大都市圏の市部、あるいは地方でも政令指定都市において、一人当たり自動車CO₂排出量が小さい生活が行いやすい



市郡別一人当たり乗用車CO₂[t-CO₂/人/年]